

令和5年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①生徒が自ら課題を発見し、解決する力や思考力・判断力・表現力等を育み探究する力の育成を目指した授業改善を行う。</p> <p>②時代や社会の変化に柔軟に対応できる資質・能力の育成のための教育課程の編成に取り組む。</p>	<p>①知識や技能を活用した対話的な学びを共通の授業研究テーマと定め、すべての教科で組織的な授業改善に取り組む。</p> <p>②77期生、78期生の新教育課程実施を踏まえ、学校全体で情報共有の機会を設ける。</p>	<p>①授業見学会や協議会、作問研究会を実施し、職員全体で授業改善への意識を高めるとともに、授業記録のアーカイブ化に取り組む。</p> <p>②6月の選択科目説明会の前に、教科会や学年会を通して、新教育課程への理解を深める。</p>	<p>①授業記録をアーカイブ化できたか。生徒による授業評価アンケートの結果が改善されたか。</p> <p>②教科会や学年会での情報共有により得た課題等を、新教育課程編成にいかすことができたか。</p>					
2 (幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒主体の学校行事や生徒会活動で培った力を学校生活や学習活動に生かせる生徒集団を育成する。</p> <p>②部活動の活性化を図り、安全面に配慮した活動や他者に対する思いやりのある行動ができる力を育成する。</p> <p>③健康や安全に関する学習活動や支援を通じ、生徒が安心して学校生活を送れる環境を整える</p>	<p>①安全に配慮し、安心して学校行事、生徒会活動ができるように工夫する。行事を上手に進めることができる生徒リーダーの育成や責任を持つて取り組むことができる支援をする。</p> <p>②顧問総会や部員総会で安全面での配慮や規定順守の共通理解を図りながら支援する。</p> <p>③新型コロナウイルスの2類から5類への移行に伴う新しい生活様式を周囲の状況を見ながら策定していく。安全に関する各種講演会、学習会をより充実させ生徒の意識を涵養する。課題のある生徒の情報共有と支援を組織的に実施する。</p>	<p>①バランスの取れた学校行事や生徒会活動を検討する。特に今年度は体育祭と文化祭の時期が変更になるため、感染防止対策を再考する。</p> <p>②顧問総会や部長会を定期的実施し、主体的に安全対策や部室管理を行うよう支援する。</p> <p>③「性に関する講演会」「交通安全・スマートフォン等の安全に関する学習会」「薬物防止学習会」等、日常の生徒の課題を念頭に企画、実施する。学年団、教育相談校ディネーター、SC、SSWが連携しより有機的な支援を推進する。</p>	<p>①リーダーとなる生徒が活動のねらいや感染症対策を理解し活動したか。グループと学年がリーダーの育成を支援できたか。</p> <p>②部活動での傷病予防、熱中症予防、感染症防止対策を生徒自ら考え、適した環境を整備できたか。部活動運営や地域にも貢献する意識を高めることができたか。</p> <p>③講演会、学習会の実施状況及びアンケートによる生徒の理解が見られたか。SC、SSWの利用状況と学校全体での情報共有と支援の組織的取り組み状況が昨年より充実したか。</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	<p>①進路や将来の展望に対する、自己の高みを目指した目標設定及びその実現への支援を図る。</p> <p>②教育情勢を的確に把握し、適切な情報の収集と周知、共有に努めるとともに、組織的な支援体制を構築する。</p>	<p>①学習活動充実の相乗効果を狙うため、その原動力となる目標の設定を支援し実現につなげる。</p> <p>②学年ごとの必要な情報を精査し、効果的に生徒に伝授するとともに、学校全体で情報を共有する仕組みを強化し、進路内容と各教科の学習内容のリンクを図り、指導につなげる。</p>	<p>①アプリ等の利用も含め模試等のデータ分析結果と展望を記録させ、軌跡を確認することで自己の成長を実感させる。</p> <p>②信頼できる情報の入手に努め、共有する場面を増やす。</p>	<p>①生徒が自分の向上を実感し、年度末に次の「高みを目指した目標」を立てられたか。</p> <p>②模試分析会や学年会等の一層の利用を通し、各教科の進路指導状況が他教科や学年にも伝わったか。</p>				
4	地域等との協働	<p>①生徒に地域の一員であるという意識を持たせ地域と協働することで信頼される学校づくりを行う。</p> <p>②「いのちを守る」ために主体的に行動する態度の育成を目指した防災教育を実践する。</p>	<p>①近隣町内会やPTA、生徒支援グループと協力して、生徒が安心して学校生活を送れる環境を整える。</p> <p>②主体的に行動する態度の育成を目指した防災教育を実践する。</p>	<p>①PTA、生徒支援グループと協働で、登校時の交通安全指導、自転車空気圧点検、ステッカー点検を行う。</p> <p>②自主的な避難経路の確認を複数回行う。防災備蓄品の管理場所についての共有を行う。</p>	<p>①PTA、生徒支援グループと交通安全指導ができたか。自転車空気圧点検、ステッカー点検を行えたか。</p> <p>②自主的な避難経路の確認が行えたか。防災備蓄品についての共有を得られたか。</p>				
5	学校管理 学校運営	<p>①施設、設備の管理を徹底し、生徒の学習環境をより向上させる。</p> <p>②学校全体で校内美化に取り組み、生徒自身に環境整備に参画する意識を持たせる。</p>	<p>①施設・設備の日常点検を行い、必要に応じて改善や修理を進め、生徒の学習環境向上を図る。</p> <p>②環境整備活動を多く設定し、環境に対する生徒の意識を高め、日常の清掃をはじめとする美化活動に積極的に取り組む態度を育成する。</p>	<p>①安全で使いやすい学習環境を整えるために、日常的に点検を行い、修理や改善、物品の補充等を適切に行う。</p> <p>②日常の清掃活動、私物の管理整頓、ごみの持ち帰り、環境委員による校内外の清掃活動を実施する。</p>	<p>①定期的な施設・設備の日常点検を行い、修理や改善を適切に行えたか。</p> <p>②校内の清掃状況や生徒の私物の整理状況が改善されたか。環境委員の活動状況と校内外のごみの状況が改善されたか。</p>				